

令和8年度 戸田市立戸田東小学校業務量管理・健康確保措置実施計画
～戸田東小学校における働き方改革の更なる推進に向けて～

1 現状

- ・在校時間調査、時間外 45 時間超教職員のべ12人(52名)
- ・令和7年4月～令和8年3月の本校の教職員の時間外在校等時間の平均
20時間29分
- ・令和7年度時間外在校時間が360時間を超す教職員の割合 14%
- ・ストレスチェックの「総合健康リスク」70(全国平均100)

2 目標

- ・全ての教職員にとって、働きがいがあり働きやすい職場を目指すことを共通認識する。
→在校時間調査、時間外 45 時間超教職員のべ10人以下とする(52名)
→学校評価(教職員)、「私は時間外勤務 45 時間以内を実践しやすい環境を整えている」90%(4件法で、あてはまる・どちらかといえばあてはまる)

3 具体策

(1)業務量管理について

- ・業務量の「見える化」を目指し、教頭が一人一人の職員の在校等時間等の状況を把握し、毎月半ば・月末に伝える。
- ・分掌組織をプロジェクト化し、年間会議実施日・内容を明示するとともに、校務のDX化を進め、限られた資源の中で効率よく運営できるようにする。
- ・1人1主任とし、業務の集中を避けるとともに、プロジェクトでチームとして運営し、タスク配分を最適化する。
- ・研修・会議は時間内に終了させる。万が一の緊急対応時には勤務の割振を確実に行う。
- ・毎週金曜日及び給与支給日(21日)に定時退勤デーを実施する。
- ・1月に定時退勤ウイークを実施する。

(2)健康確保措置について

- ・面談、相談体制の確立(教職員の相談窓口の周知、カウンセラー・産業医との定期面談、風通しの良い職員室づくり等)
- ・管理職による見届け(見る、聞く、繋ぐ)

(3)その他

- ・保護者・地域の理解促進

学校運営協議会で業務量管理・健康確保措置実施計画の承認・確認・公表
学校における働き方改革・3分類の熟議・公表
懇談会等で学校における働き方改革・3分類の周知等